

「東日本大震災の影響把握のための訪問調査 報告書」 抜粋版

株式会社ワンビシアーカイブズ
震災調査チーム

1. 調査概要

- (1) 目的: 情報資産に関する被害状況とその影響の実態把握
- (2) 地域: 被災地3県(岩手、宮城、福島)ほか(※1)
- (3) 対象: 行政、医療機関、製造業を中心とした企業・団体(※2)
- (4) 調査時期: 2011年7~9月
- (5) 調査方法: 当社震災調査チームによる訪問調査
- (6) 調査件数: 60社

※1 被害状況や社会的インパクトの大きさ、および地震(揺れ、液状化被害、地盤沈下)、津波、原子力発電所事故(全国的な電力問題も含む)の災害による影響を網羅することを考慮し設定した。

※2 人々の生命や生活などに直接関わる重要情報、および地域等の広域的な対応の把握を考慮し設定した。

2. 調査結果・分析(抜粋)

1) 事業継続の対策に関する実態

- (1) 事業継続計画(BCP)を策定している場合でも、停電や通信が使用できない状況までは想定できていない企業・団体がみられた。必要な情報を使用するため、他の拠点(社内外の協力先)で紙に出力して手渡しするといった応急対応事例がある。
- (2) バックアップデータを取得していても同時被災したことから、その保管場所やサーバの設置場所を再検討する動きがある。

<お客様の声>

- ① 沿岸部では、通信回線の物理的な切断と、停電による不通があり、停電が1ヶ月以上続いたところもあった(自治体)
- ② 停電で自家発電機を稼働させたが、燃料の補給ができなくなり、情報システムを緊急時手順で停止させた。また、その際にシステム要員が不足した(自治体)
- ③ オンラインによるバックアップを取得していたが、ネットワークの不通によりバックアップデータが取り出せなかった(自治体)
- ④ 停電により情報システムが停止し、社内に保管していた紙媒体や、別の場所に保管していたバックアップデータを取り寄せ情報の確認を行った(自治体)
- ⑤ 停電でオンライン業務が丸1日止まったとき、重要情報を紙に印刷して支店から取りに来てもらったが、移動のための燃料が不足した(金融機関)
- ⑥ バックアップサーバを設置しているデータセンターが近隣にあったため、同時被災した(自治体)
- ⑦ 津波で重要行政情報の記録されているバックアップデータが流された(自治体)

禁 無断転載

(3) 製造業では、部品調達先の生産停止がサプライチェーン全体に影響を及ぼし、企業によっては、1ヶ月の生産停止や6割程度の操業率低下となった。

<お客様の声>

- ① PC・サーバの損傷やネットワークの中断、停電などにより一部業務の停滞はあったが、図面等の情報資産に被害は少なかった(製造業、以下同じ)
- ② 調達先からの供給が停止した部品は、代替サプライヤの確保により生産を継続した
- ③ 震災や津波の被害により操業を停止した拠点は、自社の別事業所で復興するなど、自社の事業所間、グループ企業間での救援が見られた

2) バイタルレコードの安全保管に関する実態

(1) 災害直後に必要な住民台帳、本人確認情報などの重要情報を閲覧できず、罹災証明書の発行、現金出金などのサービスの提供が停止または遅延した場合もあった。

<お客様の声>

- ① 数万冊ある書類の8割が地震で書架から落下し、修復に2、3週間かかった(自治体)
- ② 台帳が整備されていないため、書類を元の場所へ戻すことが困難になった(自治体)
- ③ 連結したキャビネットが動き、部屋のドアに折り重なったため、ドアが開かなくなった(自治体)
- ④ 屋上の水タンクの配管が壊れ、水が漏れて書類が読めなくなった(自治体)
- ⑤ 地下1階を書庫として、長期保存書類を保管していたが、津波で地下が水没した(自治体)
- ⑥ 金庫室内に格納し固定していた金庫は、津波で流されなかったが、内部に浸水し、重要書類や現金が濡れた(金融機関)
- ⑦ 原子力発電所事故の影響により立ち入りが制限された区域の出先機関は、できる限りの書類を探し出して持ち出した(自治体)

(2) 災害時の医療では、通院している病院に限らず、すぐに診療情報や投薬情報が確認できる環境が求められた。しかし、津波の被害で紙や電子データのカルテを消失した病院や、開院できない状態の病院も多く、診療履歴のないまま診断をせざるを得なかった。

<お客様の声>

- ① 津波の被害により、紙のカルテや投薬データが流された(医療機関、以下同じ)
- ② 原子力発電所事故の影響により立ち入りが制限された区域の病院では、カルテを持ち出すことができなかった
- ③ 震災直後、停電・ネットワークの不通等でデータを閲覧できない病院が多かった
- ④ 被災者で薬を常用していた患者への投薬に必要な薬名や使用量等がわからない
- ⑤ 津波被害で医療機器設備や紙のカルテが流されたが、他県の医師会に電子カルテのデータを伝送していたため、データの消失は免れた

【本資料についてのお問い合わせ先】

株式会社ワンビシャーカイズ 経営企画部
TEL: 03-5425-5400 FAX: 03-5425-5035
E-mail: koho@wanbishi.co.jp

禁 無断転載